

建設コープおおさか

〒550-0012 大阪府大阪市西区立売堀 1-8-9
http://www.kensetu-co-op.com 電話:06-6533-1675



11月の行事報告

- ・11月6日(金) 9:50~18:30
マイドームおおさか 8階にて
増改築相談員研修会を開催いたしました。
新規4名、更新19名
- ・11月理事会は開催されませんでした。

「大阪府からのお願い」

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に向けた取り組みについて

- ・従業員等に対し、できる限り、不要不急の外出を自粛するよう求めること
- ・従業員等に対し、「5人以上」「2時間以上」の宴会・飲み会を控えるよう求めること
- ・従業員等に対し、GoToEat キャンペーンで付与されたポイント又は既発行の食事券、府少人数利用・飲食店応援キャンペーン事業で付与されたポイントを利用した飲食を控えるよう求めること
- ・従業員等に少しでも症状が有る場合は、休暇を取得しやすい環境を整えとともに検査受診を勧めること
- ・テレワークを推進すること
出勤が必要となる職場でも、ローテーション勤務、時差通勤、自転車通勤などの取り組みを推進すること
- ・寒い環境においても、適度な保湿、適切な換気(CO2センサーの活用による確認等)を実施すること
- ・休憩室、喫煙所、更衣室などでのマスクを外した状態での会話は控えること
- ・業種別ガイドラインを遵守(感染防止宣言ステッカーの導入)していない、接待を伴う飲食店及び酒類の提供を行う飲食店の利用を自粛すること
- ・業種別ガイドラインの遵守を徹底すること
- ・従業員の年末年始における休暇を分散すること

レッドステージ(非常事態)への移行の考え方

別添資料1

▶レッドステージについて(7/3第80回封鎖本部会議決定)

○「非常事態(赤色)」の指針を新たに設定し、重症病床を上回る感染拡大の恐れが生じていることを府民に周知

※「警戒(黄色)」発令が満了した日から起算して23日以内に、重症病床使用率が70%以上に達した場合

【現在の感染状況】

○ 重症病床使用率が上昇傾向にあり、今後も上昇が見込まれること

重症病床使用率	11月28日	11月29日	11月30日	12月1日	12月2日
	51.9%	53.4%	60.2%	60.7%	63.6%

○ 入院患者数(重症)のシミュレーションでも、新規入院患者数が増加の場合は12月8日、12日頃の場合は12月7日に病床使用率が70%に達する見込みであること

↓

レッドステージ1に移行

空き家を知ろう。～空き家発生予防のための23箇条～

第15条 トラブルを防ぎ、不安を大きくしないため、近隣にお知らせしたり、もしもの場合に備えましょう。

近隣にお知らせする・設備を導入する。保険へ加入する。

第16条 定期的な換気や掃除、雨漏りのチェックなど。空き家は正しく管理しないと、たちまち劣化します。

- ・外部の管理 庭、樹木・雑草、郵便受け、建物の外観、雨樋
- ・内部の管理 通風・換気、給排水、雨漏り、害獣等の侵入、清掃

第17条 当面使う予定がない賃貸することで住まいを有効に活用できます。

- ・賃貸方法 空き家は、リフォームしてから賃貸し地元の不動産、市町で運営する空き家バンクの登録するなど。
- ・定期借家契約 契約で定めた期間が満了することにより、更新されることなく、賃貸借が終了する建物賃貸借契約のこと。
- ・マイホーム借上げ制度 所有者が原則50歳以上の場合、「(一社)移住・住みかえ支援機構」が住宅を定期借家契約で借上げて、転貸する仕組み。

第18条 県又は市町の各種支援制度を活用しよう

- ・空き家活用支援事業 県では空き家を改修し、住宅、事業所や地域交流拠点として利活用する際に改修工事の一部を支援している。
- ・住宅耐震改修等助成制度 旧耐震基準の住宅の耐震改修工事への助成制度を各市町で実施している。
- ・古民家再生促進支援事業 県では、古民家を地域資源として再生するため、古民家を地域活動や交流・宿泊体験施設、店舗など地域の賑わいや地域活性化に資する施設又は賃貸住宅への改修する費用を支援している。
- ・市町の支援事業
- ・主な市町の事業



住宅リフォームの現状

1-1 新設・住宅リフォームの市場推移

住宅の新設着工数は、1996年以降緩やかに減少し、リーマンショックの影響で2009年に80万戸を割った。直近では消費税率引上げによる駆け込み需要により98万戸の水準まで回復したが、長期的にみると着工数は減少傾向の見通し。住宅リフォームの2012年の市場規模は約6.7兆円と微増。民間調査では、市場の定義が異なるものの2016年の市場規模を8.7兆円(対2012年増減率10.7%増)と予測

1-2 消費者ニーズの変化①

従来までの消費者のニーズは、「とにかく安く経済的なもの」であったのに対し、近年「多少値段が高くても品質が良いもの」や「安全性に配慮した商品」に変化

1-3 消費者ニーズの変化②

「自分が気に入った付加価値には対価を払う」層が増加
年代別にみると若年層は「こだわり」が強く、高齢者は「安さ」「利便性」を重視する傾向

1-4 消費者ニーズの変化③

東日本大震災の意識変化として、住まいについては「省エネ性能」、「安全・安心」を重視する層が増加

住宅リフォームの種類

2-1 一般的リフォーム

- ・設備機器の更新と同時に、子育て期の家族に合わせて間取りを変更、収納も充実させた。
- ・壁付けのキッチンを対面式に変更。LDと一体化させ、家族みんなで過ごせる空間に。
- ・使い勝手や省エネ、掃除のしやすさも配慮されたシステムキッチンや洗面台の水廻り設備を導入。
- ・玄関のシューズクローク、ユーティリティをはじめ各部屋に十分な収納を確保。「モノは使う場所のそばにしまう」を徹底し、家事を効率化。

2-2 同居対応リフォーム

- ・2階は小屋裏などを有効利用し、娘夫婦と3人の孫のプライベート空間を、1階は親の介護室と一家7人の共有の団欒の空間を創出。
- ・1階LDKと介護室の空間一部をついで仕切り、常にLDKから両親の様子をうかがえるように配慮した。
- ・3姉妹の各スペースはコンパクトに。ロフトベッドを生かし空間を効率的に使えるようにした。



【編集後記】

今年もあとわずか。コロナで始まりコロナで終わる1年でした。日々不安の1年でもありました。景気が再び上昇するように期待したいものです。
来年は皆様にとって良い年であるように願っています。

